

## 国会緊迫 秘密保護法案を廃案に



4日朝、札幌駅前南口で訴えるはたやま和也道副委員長、森つねと国政相談室長

自民党は、10月28日に委員会審議入りしたばかりの日本版NSC法案を6日に採決するよう提案、これに合わせて憲法の基本原則を覆す「秘密保護法案」を7日の衆院本会議で審議入りさせることも提起しました。安倍内閣がすすめる「戦争する国づくり」の動きで、国会が緊迫しています。

11月2日について宣伝活動をしている党道委員会と国会議員団事務所は4日朝、札幌駅前を出勤時宣伝にたちました。マイクを握ったのは、森つねと国政相談室長とはたやま和也道副委員長です。「ホテルを出ようとしたら音が聞こえたので来ました。ぜひがんばって」と激励してくれたのは、釧路に行くという女性でした。

この法案がどんなものなのか知らされていない人が多くいます。早く多くの人に知らせ、「国民の目、耳、口をふさぎ、“何が秘密かも秘密”だと基本的人権をふみにじるのが秘密保護法案であることを明らかにしこの法案を廃案に追い込みましょう。

## JR北海道の安全確保で

## 穀田恵二衆院議員 国交省の責任追及



質問する穀田恵二議員=1日国土交通委員会

11月1日、穀田恵二衆院議員は、衆院国土交通委員会で、事故・トラブルが相次ぐJR北海道の問題を取り上げ、「公共交通機関としての信頼は失墜している」とし、鉄道事業を所管する国土交通省の指導責任を追及しました。穀田議員は「国鉄時代には全国統一の基準があった。安全基準の作成を個々の事業者まかせにせず、国が責任をもって作成すべきだ」と主張。また、車両の検査周期が延長された問題について「車両が古くなれば、丁寧に頻度を上げて検査し、修繕すべきなのに、基準緩和で検査周期は延長されている。基準を厳格化すべきだ」と指摘しました。穀田衆議が取り上げた内容は、9月26日に行なった党国会議員調査団として、労働者からの聞き取り、本社と苗穂工場の調査に基づくものです。

## 参院農水委員会 紙智子参院議員 「TPP交渉は国会決議に反する」と追及

5日、紙智子参院議員は参院農林水産で委員会で、政府がTPP交渉の年内妥結に向け、「聖域」としてきた重要5項目の扱いをめぐる相反した態度をとっている問題を追及しました。林農水産大臣が「衆参両院の決議を踏まえ国益を守りぬく」と言いつつも「検証に必要な情報提供をしている」と答弁。紙智子議員は、重要5項目の関税撤廃対象品目を検証する作業は、聖域が確保できないと判断した場合は脱退も辞さないとした国会決議に真っ向から反すると指摘。抵抗すべき農水省が協力していることは相反した行為だと批判し「重要5項目586品目が守れないなら脱退すると閣内で主張するのが農水大臣の役割ではないか」と迫りました。



5日参院農水委員会で質問する紙智子議員